

NEWS RELEASE



2010年5月27日

平成21年度決算のお知らせ

ハートフォード生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：ビクター・チャング、以下「ハートフォード生命」）の平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）決算（案）についてお知らせいたします。

【保有契約件数・保有契約高】

当年度末の保有契約件数は54万1千件、保有契約高は3兆6,343億円となりました。

【総資産・特別勘定資産残高】

当年度末の総資産は3兆4,561億円となりました。また特別勘定資産残高は2兆8,399億円となりました。

【収支状況】

当年度の基礎利益は118億492万円、経常利益は95億4,243万円、当期純利益は44億2,363万円となりました。

【ソルベンシー・マージン比率】

当年度末のソルベンシー・マージン比率は820.2%となり、十分な支払余力を確保しております。

ハートフォード生命は、平成21年6月1日より保険商品の新規取扱いを休止しておりますが、当社の保険商品にご加入いただいているお客様のご契約内容には一切の変更はなく、従来どおり増額を含むご契約に係るサービスをご提供しております。当社は今後とも堅実な経営を維持し、引き続きお客様のご契約をお守りしてまいります。

以上

添付：平成21年度決算について

平成 21 年度決算について

ハートフォード生命保険株式会社（社長 ビクター・チャング）の平成 21 年度（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

| | | |
|--------------------------------------|----|------|
| 1. 主要業績 | …… | 1 頁 |
| 2. 平成 21 年度末保障機能別保有契約高 | …… | 3 頁 |
| 3. 平成 21 年度一般勘定資産の運用状況 | …… | 3 頁 |
| 4. 貸借対照表 | …… | 9 頁 |
| 5. 損益計算書 | …… | 10 頁 |
| 6. 経常利益等の明細（基礎利益） | …… | 14 頁 |
| 7. 株主資本等変動計算書 | …… | 15 頁 |
| 8. 債務者区分による債権の状況 | …… | 17 頁 |
| 9. リスク管理債権の状況 | …… | 17 頁 |
| 10. ソルベンシー・マージン比率 | …… | 18 頁 |
| 11. 平成 21 年度特別勘定の状況 | …… | 19 頁 |
| 12. 保険会社及びその子会社等の状況 | …… | 21 頁 |
| 【参考】証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況 | …… | 21 頁 |

以 上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | | | 平成 21 年度末 | | | |
|---------|-----------|-------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|
| | 件 数 | | 金 額 | | 件 数 | | 金 額 | |
| | | 前年度末比 | | 前年度末比 | | 前年度末比 | | 前年度末比 |
| 個 人 保 険 | 0 | - | 28 | - | 0 | 106.2 | 29 | 106.8 |
| 個人年金保険 | 555 | 99.8 | 37,854 | 98.1 | 540 | 97.4 | 36,313 | 95.9 |
| 団 体 保 険 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 団体年金保険 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度 | | | | | | 平成 21 年度 | | | | | |
|---------|----------|------|-------|------|----------|---|----------|------|-----|----------|----|---|
| | 件 数 | | 金 額 | | | | 件 数 | | 金 額 | | | |
| | | 前年度比 | 前年度比 | 新契約 | 転換による純増加 | | 前年度比 | 前年度比 | 新契約 | 転換による純増加 | | |
| 個 人 保 険 | 0 | - | 28 | - | 28 | - | 0 | 16.4 | 4 | 16.9 | 4 | - |
| 個人年金保険 | 42 | 42.1 | 2,502 | 40.6 | 2,502 | - | 1 | 2.8 | 77 | 3.1 | 77 | - |
| 団 体 保 険 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 団体年金保険 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 金額は基本保険金額です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|----------------|-----------|-------|-----------|-------|
| | | 前年度末比 | | 前年度末比 |
| 個 人 保 険 | 269 | - | 290 | 107.8 |
| 個 人 年 金 保 険 | 367,651 | 103.6 | 329,151 | 89.5 |
| 合 計 | 367,921 | 103.7 | 329,441 | 89.5 |
| うち医療保障・生前給付保障等 | - | - | - | - |

・新契約

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度 | | 平成 21 年度 | |
|----------------|----------|------|----------|------|
| | | 前年度比 | | 前年度比 |
| 個 人 保 険 | 277 | - | 47 | 17.2 |
| 個 人 年 金 保 険 | 54,933 | 84.8 | 2,641 | 4.8 |
| 合 計 | 55,210 | 85.2 | 2,689 | 4.9 |
| うち医療保障・生前給付保障等 | - | - | - | - |

- (注) 1. 保有契約における「年換算保険料」は、年金支払開始前契約の基本保険金額を保険期間で除した金額と年金支払開始後契約の年金原資を年金支払期間で除した金額を合計したものです。
2. 新契約における「年換算保険料」は、基本保険金額を保険期間で除した金額です。
3. 保険期間及び年金支払期間が終身の場合、80歳までの期間で算定し、その期間が10年間より短い場合は10年間で算定しています。

(3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度 | | 平成 21 年度 | |
|---------------|----------|-------|----------|-----------|
| | | 前年度比 | | 前年度比 |
| 保 険 料 等 収 入 | 662,199 | 80.2 | 113,588 | 17.2 |
| 資 産 運 用 収 益 | 254 | 243.4 | 386,678 | 151,746.8 |
| 保 険 金 等 支 払 金 | 675,391 | 186.1 | 293,548 | 43.5 |
| 資 産 運 用 費 用 | 734,156 | 197.8 | 0 | 0.0 |
| 経 常 利 益 | 359 | 4.1 | 9,542 | 2,655.4 |

(4) 総資産

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | | 前年度末比 | | 前年度末比 |
| 総 資 産 | 3,267,088 | 80.3 | 3,456,192 | 105.8 |

2. 平成 21 年度末保障機能別保有契約高

(単位：千件、億円)

| 項 目 | 個人保険 | | 個人年金保険 | | 団体保険 | | 合 計 | | |
|------|-----------|----|--------|--------|--------|----|-----|--------|--------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | |
| 死亡保障 | 普通死亡 | 0 | 29 | 540 | 36,313 | - | - | 541 | 36,343 |
| | 災害死亡 | - | - | 452 | 5,736 | - | - | 452 | 5,736 |
| | その他の条件付死亡 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 生存保障 | - | - | 540 | 36,313 | - | - | 540 | 36,313 | |

(注) 生存保障欄の金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

3. 平成 21 年度の一般勘定資産の運用状況

(1) 平成 21 年度の資産の運用状況

①運用環境

【日本株式市場】

期初 8,109 円で始まった日経平均株価は、リーマン・ショック以降に相次いで打ち出された金融・経済政策への期待感から上昇して始まりました。その後も、世界株式市場の上昇や経済指標が底打ちの兆しを見せ始めたことを受けて堅調に推移し、8 月下旬には 10,700 円台まで上昇しました。9 月以降、新政権の政策に対する不透明感や円高の進行から上値の重い展開となり、加えて、国内企業の大型増資に伴う株式の需給悪化懸念やドバイ・ショックによる円高の急加速等の影響から、一時的に 9,000 円付近まで調整しました。12 月以降、円高の修正や好調な経済指標の発表、そして輸出関連企業を中心に予想以上の収益改善が見られたことを背景に再び上昇基調となり、日経平均株価は 11,089 円（前期末比+36.8%）で期末を迎えました。

【日本債券市場】

国内長期金利（新発 10 年国債利回り）は、期を通じて、概ね 1.2%から 1.5%の間で方向感のない動きとなりました。

期前半は、国債増発に伴う需給悪化懸念から金利上昇が散発的に見られましたが、金融緩和政策の長期化や物価の低迷が意識されて、やや低下基調で推移しました。

期後半は、堅調な株式市場や財政悪化にともなう信用リスクの増大などを背景に上昇基調で推移し、1.4%付近で期末を迎えました。

【外国株式市場】

期初 7,608 ドルで始まった米国株式市場（NY ダウ）は、一時的な調整局面をこなしつつも、期を通じて概ね堅調に推移しました。

期前半は、リーマン・ショック以降に相次いで打ち出された金融・経済政策が功を奏し、企業の好決算や底打ちを示す経済指標が発表されたことから、過度の金融不安や景気悪化懸念が後退し、急速に上昇しました。期後半は、中国の金融引き締め、ギリシャの財政問題、米金融規制案などが嫌気されて調整する局面もありましたが、米政府による金融緩和政策の長期継続姿勢が株価を下支えしました。加えて、景気回復を示す経済指標や予想以上の好決算が数多く発表されたことから堅調な推移を辿り、NY ダウは 10,856 ドル（前期末比+42.7%）で期末を迎えました。

欧州株式市場も、世界的な景気回復期待を受けて米国株式市場と概ね同様の動きとなりましたが、一部の国では財政問題が意識されて期後半は上値の重い動きとなりました。

【外国債券市場】

米国長期金利（10 年国債利回り）は、堅調な株式市場や国債増発懸念の高まりを受けて上昇して始まりましたが、6 月以降、米政府が金融緩和政策の長期継続姿勢を維持したことや消費・雇

用環境の悪化を背景に低下基調となりました。その後も、好調な国債入札や物価の下落等が意識され、株式市場が堅調であるにも関わらず金利は低位で揉み合う展開となりました。12月以降、資源価格の高騰に伴うインフレ懸念の台頭により上昇に転じると、堅調な株式市況や雇用関連指標の改善なども国債の売り材料となり、3.8%台前半で期末を迎えました。

ドイツ長期金利（10年国債利回り）は、11月までは概ね米国と同様の動きを辿りましたが、12月以降、ギリシャの財政問題からリスク回避の動きが強まると、欧州圏内において相対的に安全性の高いドイツ国債等の需要が高まり金利は低下しました。その後も、財政問題が南欧諸国に広がるなど同問題がくすぶったことから低下基調を辿り、3.0%付近で期末を迎えました。

【外国為替市場】

円/ドル相場は、米国の財政悪化懸念を受けた世界的なドル安の動きを背景に、円高基調で始まり、その後も金融緩和政策の長期化観測にともなう日米金利差の縮小などから円買いが進みました。加えて、新政府が為替介入に消極的な見方を示したことやドバイ・ショックによるリスク回避の動きを受けて85円付近まで円高が進行しました。12月以降、ギリシャの財政問題が台頭すると、ドル需要が世界的に高まった為に円安基調となり、93円04銭（前期末比5円19銭円高）で期末を迎えました。

円/ユーロ相場は、期前半はリスク回避の円買いと比較的高金利通貨であるユーロを買う動きが交錯し、概ね130円台で揉み合う展開となりました。12月以降、ギリシャの財政問題によるユーロ逃避の動きから円高が急速に進行し、124円92銭（前期末比4円92銭円高）で期末を迎えました。

②当社の運用方針

一般勘定では主に資本金を運用しております。資本金は日本国債の他、当面経費支払への充当に必要な金額について流動性の高い預金で運用しております。また、個人変額保険および個人変額年金保険に係る資産は特別勘定で運用しております。

③運用実績の概況

平成22年3月末の一般勘定資産は前期末より278億円減少し、6,170億円となりました。また、資産運用損益は1.1億円でした。

(2) 資産の構成

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|-------------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金 額 | 占 率 | 金 額 | 占 率 |
| 現預金・コールローン | 34,528 | 5.4 | 27,993 | 4.5 |
| 買 現 先 勘 定 | - | - | - | - |
| 債券貸借取引支払保証金 | - | - | - | - |
| 買 入 金 銭 債 権 | - | - | - | - |
| 商 品 有 価 証 券 | - | - | - | - |
| 金 銭 の 信 託 | - | - | - | - |
| 有 価 証 券 | 45,812 | 7.1 | 81,220 | 13.2 |
| 公 社 債 | 45,812 | 7.1 | 81,220 | 13.2 |
| 株 式 | - | - | - | - |
| 外 国 証 券 | - | - | - | - |
| 公 社 債 | - | - | - | - |
| 株 式 等 | - | - | - | - |
| そ の 他 の 証 券 | - | - | - | - |
| 貸 付 金 | 519 | 0.1 | 567 | 0.1 |
| 不 動 産 | 654 | 0.1 | 384 | 0.1 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 20,497 | 3.2 | 20,100 | 3.3 |
| そ の 他 | 542,898 | 84.2 | 486,779 | 78.9 |
| 貸 倒 引 当 金 | - | - | - | - |
| 合 計 | 644,910 | 100.0 | 617,045 | 100.0 |
| うち外貨建資産 | 30,055 | 4.7 | 26,967 | 4.4 |

(3) 資産の増減

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|-------------|----------|----------|
| 現預金・コールローン | △30,586 | △6,534 |
| 買 現 先 勘 定 | - | - |
| 債券貸借取引支払保証金 | - | - |
| 買 入 金 銭 債 権 | - | - |
| 商 品 有 価 証 券 | - | - |
| 金 銭 の 信 託 | - | - |
| 有 価 証 券 | 44,405 | 35,407 |
| 公 社 債 | 44,405 | 35,407 |
| 株 式 | - | - |
| 外 国 証 券 | - | - |
| 公 社 債 | - | - |
| 株 式 等 | - | - |
| そ の 他 の 証 券 | - | - |
| 貸 付 金 | 20 | 47 |
| 不 動 産 | 73 | △270 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 388 | △396 |
| そ の 他 | 211,989 | △56,119 |
| 貸 倒 引 当 金 | - | - |
| 合 計 | 226,290 | △27,865 |
| うち外貨建資産 | 5,223 | △3,088 |

(4) 資産運用関係収益

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|-------------|----------|----------|
| 利息及び配当金等収入 | 254 | 67 |
| 預貯金利息 | 1 | 0 |
| 有価証券利息・配当金 | 119 | 66 |
| 貸付金利息 | 0 | 1 |
| 不動産賃貸料 | - | - |
| その他利息配当金 | 133 | 0 |
| 商品有価証券運用益 | - | - |
| 金銭の信託運用益 | - | - |
| 売買目的有価証券運用益 | - | - |
| 有価証券売却益 | - | - |
| 国債等債券売却益 | - | - |
| 株式等売却益 | - | - |
| 外国証券売却益 | - | - |
| その他 | - | - |
| 有価証券償還益 | - | - |
| 金融派生商品収益 | - | - |
| 為替差益 | - | 52 |
| その他運用収益 | - | - |
| 合 計 | 254 | 119 |

(5) 資産運用関係費用

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|--------------|----------|----------|
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 商品有価証券運用損 | - | - |
| 金銭の信託運用損 | - | - |
| 売買目的有価証券運用損 | - | - |
| 有価証券売却損 | - | - |
| 国債等債券売却損 | - | - |
| 株式等売却損 | - | - |
| 外国証券売却損 | - | - |
| その他 | - | - |
| 有価証券評価損 | - | - |
| 国債等債券評価損 | - | - |
| 株式等評価損 | - | - |
| 外国証券評価損 | - | - |
| その他 | - | - |
| 有価証券償還損 | - | - |
| 金融派生商品費用 | - | - |
| 為替差損 | 42 | - |
| 貸倒引当金繰入額 | - | - |
| 貸付金償却 | - | - |
| 賃貸用不動産等減価償却費 | - | - |
| その他運用費用 | 4 | - |
| 合 計 | 46 | 0 |

(6) 資産運用に係わる諸効率

①資産別運用利回り

(単位：%)

| 区 分 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|--------------|----------|----------|
| 現預金・コールローン | 0.12 | 0.11 |
| 買 現 先 勘 定 | - | - |
| 債券貸借取引支払保証金 | - | - |
| 買 入 金 銭 債 権 | - | - |
| 商 品 有 価 証 券 | - | - |
| 金 銭 の 信 託 | - | - |
| 有 価 証 券 | 0.31 | 0.10 |
| うち 公 社 債 | 0.31 | 0.10 |
| うち 株 式 | - | - |
| うち 外 国 証 券 | - | - |
| 貸 付 金 | 2.35 | 2.34 |
| 不 動 産 | - | - |
| 一 般 勘 定 計 | 0.05 | 0.02 |
| うち 海 外 投 融 資 | - | - |

- (注) 1. 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益-資産運用費用として算出した利回りです。
2. 海外投融資とは、外貨建資産と円建資産の合計です。

②売買目的有価証券の評価損益

該当ありません。

③有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | | | | 平成 21 年度末 | | | | |
|------------|-----------|--------|-------|----|------|-----------|--------|----|---|---|
| | 帳簿価額 | 時 価 | 差 損 益 | | 帳簿価額 | 時 価 | 差 損 益 | | | |
| | | | 差益 | 差損 | | | 差益 | 差損 | | |
| 満期保有目的の債券 | 45,812 | 45,821 | 9 | 13 | 4 | 81,220 | 81,220 | △0 | 7 | 8 |
| 責任準備金対応債券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 子会社・関連会社株式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他有価証券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 公 社 債 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 株 式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 外 国 証 券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 公 社 債 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 株 式 等 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他の証券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 買入金銭債権 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 譲渡性預金 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| そ の 他 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合 計 | 45,812 | 45,821 | 9 | 13 | 4 | 81,220 | 81,220 | △0 | 7 | 8 |
| 公 社 債 | 45,812 | 45,821 | 9 | 13 | 4 | 81,220 | 81,220 | △0 | 7 | 8 |
| 株 式 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 外 国 証 券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 公 社 債 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 株 式 等 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他の証券 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 買入金銭債権 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 譲渡性預金 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| そ の 他 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

なお、時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券はありません。

④金銭の信託の時価情報

該当ありません。

4. 貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成 20 年度 (平成 21 年 3 月 31 日現在) | 平成 21 年度 (平成 22 年 3 月 31 日現在) |
|--------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| | 金 額 | 金 額 |
| (資産の部) | | |
| 現金及び預貯金 | 80,414 | 87,684 |
| 預貯金 | 80,414 | 87,684 |
| 有価証券 | 2,620,776 | 2,858,396 |
| 国債 | 45,812 | 81,220 |
| 外国証券 | 11,688 | 9,727 |
| その他の証券 | 2,563,275 | 2,767,448 |
| 貸付金 | 519 | 567 |
| 保険約款貸付 | 519 | 567 |
| 有形固定資産 | 1,692 | 1,019 |
| 建物 | 654 | 371 |
| 建設仮勘定 | - | 13 |
| その他の有形固定資産 | 1,038 | 634 |
| 無形固定資産 | 3,455 | 2,648 |
| ソフトウェア | 3,454 | 2,646 |
| その他の無形固定資産 | 1 | 1 |
| 再保険貸 | 532,528 | 481,340 |
| その他資産 | 7,204 | 4,434 |
| 未収金 | 5,295 | 2,752 |
| 前払費用 | 468 | 295 |
| 未収収益 | 11 | 6 |
| 預託金 | 1,425 | 1,378 |
| 仮払金 | 1 | 1 |
| その他の資産 | 1 | 0 |
| 繰延税金資産 | 20,497 | 20,100 |
| 資産の部合計 | 3,267,088 | 3,456,192 |
| (負債の部) | | |
| 保険契約準備金 | 3,165,469 | 3,350,697 |
| 支払備金 | 9,447 | 8,856 |
| 責任準備金 | 3,156,021 | 3,341,841 |
| 代理店借 | 665 | 274 |
| 再保険借 | 2,586 | 1,664 |
| その他負債 | 2,410 | 3,173 |
| 未払法人税等 | 3 | 1,312 |
| 未払金 | 740 | 462 |
| 未払費用 | 778 | 275 |
| 前受収益 | 2 | 11 |
| 預り金 | 164 | 167 |
| 預り保証金 | 23 | 146 |
| 仮受金 | 696 | 0 |
| その他の負債 | - | 798 |
| 負債の部合計 | 3,171,130 | 3,355,810 |
| (純資産の部) | | |
| 資本金 | 56,750 | 56,750 |
| 資本剰余金 | 56,750 | 56,750 |
| 資本準備金 | 56,750 | 56,750 |
| 利益剰余金 | △17,541 | △13,118 |
| その他利益剰余金 | △17,541 | △13,118 |
| 繰越利益剰余金 | △17,541 | △13,118 |
| 株主資本合計 | 95,958 | 100,381 |
| 純資産の部合計 | 95,958 | 100,381 |
| 負債及び純資産の部合計 | 3,267,088 | 3,456,192 |

5. 損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成 20 年度 平成 20 年 4 月 1 日から 平成 21 年 3 月 31 日まで | 平成 21 年度 平成 21 年 4 月 1 日から 平成 22 年 3 月 31 日まで |
|--------------------|---|---|
| | 金 額 | 金 額 |
| 経常収益 | 1,460,048 | 506,463 |
| 保険料等収入 | 662,199 | 113,588 |
| 保険料 | 279,152 | 12,893 |
| 再保険収入 | 383,046 | 100,694 |
| 資産運用収益 | 254 | 386,678 |
| 利息及び配当金等収入 | 254 | 67 |
| 預貯金利息 | 1 | 0 |
| 有価証券利息・配当金 | 119 | 66 |
| 貸付金利息 | 0 | 1 |
| その他利息配当金 | 133 | 0 |
| 為替差益 | - | 52 |
| 特別勘定資産運用益 | - | 386,559 |
| その他経常収益 | 797,594 | 6,196 |
| 年金特約取扱受入金 | 5,101 | 5,430 |
| 保険金据置受入金 | - | 8 |
| 支払備金戻入額 | 15 | 590 |
| 責任準備金戻入額 | 792,203 | - |
| その他の経常収益 | 272 | 167 |
| 経常費用 | 1,459,688 | 496,921 |
| 保険金等支払金 | 675,391 | 293,548 |
| 保険金 | 56,038 | 53,400 |
| 年金 | 17,442 | 18,735 |
| 給付金 | 110,206 | 7,415 |
| 解約返戻金 | 119,517 | 88,152 |
| その他返戻金 | 2,017 | 212 |
| 再保険料 | 370,169 | 125,632 |
| 責任準備金等繰入額 | - | 185,819 |
| 責任準備金繰入額 | - | 185,819 |
| 資産運用費用 | 734,156 | 0 |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 為替差損 | 42 | - |
| その他運用費用 | 4 | - |
| 特別勘定資産運用損 | 734,110 | - |
| 事業費 | 35,850 | 15,413 |
| その他経常費用 | 14,290 | 2,139 |
| 保険金据置支払金 | 13 | - |
| 税金 | 2,403 | 576 |
| 減価償却費 | 1,626 | 1,535 |
| 保険業法第 113 条繰延資産償却費 | 10,208 | - |
| その他の経常費用 | 37 | 27 |
| 経常利益 | 359 | 9,542 |
| 特別利益 | - | 0 |
| 固定資産等処分益 | - | 0 |
| 特別損失 | 503 | 2,504 |
| 固定資産等処分損 | 503 | 759 |
| その他特別損失 | - | 1,744 |
| 税引前当期純利益 | △144 | 7,039 |
| 法人税及び住民税 | 3 | 2,219 |
| 法人税等調整額 | △388 | 396 |
| 法人税等合計 | △384 | 2,615 |
| 当期純利益 | 240 | 4,423 |

注記事項
(貸借対照表関係)

平成 21 年度

1. 有価証券の評価は、売買目的有価証券については時価法（売却原価の算定は移動平均法）、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）によっております。
2. (1) 有形固定資産の減価償却の方法は、次の方法によっております。
 建物
 ① 平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したもの 旧定率法によっております。
 ② 平成 19 年 4 月 1 日以降に取得したもの 定率法によっております。
 建物以外
 ① 平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したもの 旧定率法によっております。
 ② 平成 19 年 4 月 1 日以降に取得したもの 定率法によっております。
 (2) 有形固定資産の減価償却累計額は 1,909 百万円であります。
3. 無形固定資産に計上している自社利用のソフトウェアの減価償却の方法は、利用可能期間に基づく定額法によっております。
4. (1) 外貨建資産・負債は、決算日の為替相場により円換算しております。
 (2) 外貨建資産の額は、36,695 百万円であります。(外貨額 366 百万米ドル、20 百万ユーロ)
 外貨建負債の額は、25,631 百万円であります。(外貨額 274 百万米ドル)
5. 貸倒引当金は、全ての債権について資産の自己査定基準に則り査定した結果、全額回収可能と判断しましたので計上しておりません。
6. リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
7. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等のうち、税法に定める繰延消費税等については、前払費用に計上し 5 年間で均等償却し、繰延消費税等以外のものについては、発生年度に費用処理しております。
8. 責任準備金は、保険業法第 116 条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しております。
 ① 標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式（平成 8 年大蔵省告示第 48 号）。
 ② 標準責任準備金の対象とならない契約については、保険業法施行規則第 69 条第 4 項第 2 号及び第 3 号の規定に定める方式。
 変額個人年金保険における修正共同保険式再保険に係る再保険会社からの預り責任準備金は責任準備金に、再保険会社への出再保険責任準備金移転額並びに再保険会社からの出再保険責任準備金調整額は再保険料として計上しております。積立利率変動型個人年金保険における共同保険式の再保険契約については、ハートフォード・ライフ・インシュアランス・カンパニーと締結しており、その責任準備金相当額は、再保険からの回収額として再保険貸並びに再保険収入に計上しております。また、保険業法施行規則並びに金融庁告示等の一部改正における責任準備金の積立等に関して、変額個人年金保険においてハートフォード・ライフ・アンド・アニュイティー・インシュアランス・カンパニーと共同保険式の再保険契約を締結しており、その責任準備金相当額を責任準備金より控除しております。
 なお、一部の変額個人年金保険について最低死亡保証部分を出再対象として共同保険式の再保険契約を締結しており、その責任準備金相当額を責任準備金として計上しております。
 責任準備金は、修正共同保険式再保険に係る預り責任準備金に対応する金額 1,758,089 百万円、及び共同保険式再保険に係る責任準備金相当額 242,699 百万円を含んでおります。
9. 保険業法第 118 条第 1 項に規定する特別勘定以外の勘定である一般勘定の資産運用は、「一般勘定にかかる資産運用に関する戦略目標」に基づき運用しております。この方針に基づき、具体的には国債に投資しております。
 一般勘定及び特別勘定の主な金融資産に係る貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 貸借対照表 計上額 | 時価 | 差額 |
|-----------|--------------|-----------|----|
| 現金及び預貯金 | 87,684 | 87,684 | - |
| 有価証券 | 2,858,396 | 2,858,396 | △0 |
| 売買目的有価証券 | 2,777,176 | 2,777,176 | - |
| 満期保有目的の債券 | 81,220 | 81,220 | △0 |
| 貸付金 | 567 | 567 | - |
| 保険約款貸付 | 567 | 567 | - |

- (1) 現金及び預貯金
 預金はすべて短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。
 - (2) 有価証券
 ・市場価格のある有価証券は 3 月末日の市場価格等によっております。
 ・満期保有目的として保有する国債の償還予定額は、1 年以内が 80,418 百万円、1 年超 5 年以内が 795 百万円であります。
 ・特別勘定で運用する売買目的有価証券に関して、当期の損益に含まれた評価差額は 404,570 百万円であります。
 - (3) 貸付金
 保険約款貸付は、当該貸付を解約返戻金の範囲内に限るなどの特性により返済期限を設けておらず、返済見込み期間及び金利条件等から、時価は帳簿価額と近似しているものと想定されるため、帳簿価額を時価としております。
10. 保険業法第 118 条に規定する特別勘定資産の額は 2,839,907 百万円であります。なお、負債の額も同額であります。

平成 21 年度

11. 再保険貸は、修正共同保険式再保険に係る再保険貸 59,095 百万円、及び共同保険式再保険に係る再保険貸 422,244 百万円であります。なお、積立利率変動型個人年金保険に係る共同保険式再保険契約について、その責任準備金相当額は、再保険からの回収額として再保険貸並びに再保険収入に計上しております。
12. 保険業法施行規則第 71 条第 1 項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という）の金額は 199,552 百万円であります。
13. 繰延税金資産の総額は 20,244 百万円、繰延税金負債の総額は 143 百万円であります。繰延税金資産発生の主な原因は、危険準備金 19,322 百万円であります。当年度における法定実効税率は 36.2%であり、税効果適用後の法人税等の負担率は 37.1%であります。
14. 1 株当たりの純資産額は 88,442 円 3 銭であります。
15. 保険業法第 259 条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は 12,695 百万円であります。なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。

注記事項
(損益計算書関係)

平成 21 年度

- 再保険収入には、修正共同保険式再保険に係る出再保険事業費受入 18,711 百万円、及び共同保険式再保険に係る責任準備金相当額△15,961 百万円が含まれております。
- 再保険料には、修正共同保険式再保険に係る出再保険責任準備金移転額 7,510 百万円、及び出再保険責任準備金調整額 101,793 百万円、並びに共同保険式再保険に係る再保険料 16,328 百万円が含まれております。
- 責任準備金繰入額の計算上、足し上げられた出再責任準備金戻入額の金額は 138,965 百万円であります。
- その他特別損失には、組織改編に伴う特別退職金 951 百万円、オフィスの使用面積を縮小し転貸契約を結んだことに伴う損失見込額等 793 百万円が含まれております。
- 1 株当たりの当期純利益の金額は 3,897 円 47 銭であります。
- 関連当事者との取引

(単位：百万円)

| 属性 | 会社等の名称 | 議決権等の所有(被所有)割合 | 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額 | 科目 | 期末残高 |
|---------|--|----------------|--------------------------|--------|--------|------|---------|
| 親会社の子会社 | ハートフォード・ライフ・インシュアランス・カンパニー | なし | 利率変動型個人年金保険における共同式の再保険契約 | 再保険収入 | 2,933 | 再保険貸 | 243,872 |
| | | | | 再保険料 | 199 | 再保険借 | 287 |
| 親会社の子会社 | ハートフォード・ライフ・アサント・アキュイター・インシュアランス・カンパニー | なし | 最低保証に係る共同式の再保険契約 | 再保険収入 | 9,766 | 再保険貸 | 178,145 |
| | | | | 再保険料 | 15,451 | 再保険借 | 1,123 |
| 親会社の子会社 | ハートフォード・ライフ・アサント・アキュイター・インシュアランス・カンパニー | なし | 業務委託契約の締結 | 業務委託費等 | 1,266 | 未払金 | 336 |

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 再保険取引については、一般の取引条件と同様に設定しております。
- 当社が委託する業務内容を勘案した上で、委託契約金額について協議の上決定しております。

6. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

| | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|-------------------|----------|----------|
| 基礎利益 A | △2,818 | 11,804 |
| キャピタル収益 | - | 52 |
| 金銭の信託運用益 | - | - |
| 売買目的有価証券運用益 | - | - |
| 有価証券売却益 | - | - |
| 金融派生商品収益 | - | - |
| 為替差益 | - | 52 |
| その他キャピタル収益 | - | - |
| キャピタル費用 | 42 | - |
| 金銭の信託運用損 | - | - |
| 売買目的有価証券運用損 | - | - |
| 有価証券売却損 | - | - |
| 有価証券評価損 | - | - |
| 金融派生商品費用 | - | - |
| 為替差損 | 42 | - |
| その他キャピタル費用 | - | - |
| キャピタル損益 B | △42 | 52 |
| キャピタル損益含み基礎利益 A+B | △2,860 | 11,857 |
| 臨時収益 | 3,220 | - |
| 再保険収入 | - | - |
| 危険準備金戻入額 | 3,220 | - |
| その他臨時収益 | - | - |
| 臨時費用 | - | 2,315 |
| 再保険料 | - | - |
| 危険準備金繰入額 | - | 2,315 |
| 個別貸倒引当金繰入額 | - | - |
| 特定海外債権引当勘定繰入額 | - | - |
| 貸付金償却 | - | - |
| その他臨時費用 | - | - |
| 臨時損益 C | 3,220 | △2,315 |
| 経常利益 A+B+C | 359 | 9,542 |

7. 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|---------------------|---|---|
| | 平成 20 年 4 月 1 日から 平成 21 年 3 月 31 日まで | 平成 21 年 4 月 1 日から 平成 22 年 3 月 31 日まで |
| | 金 額 | 金 額 |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 前期末残高 | 56,750 | 56,750 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 | - | - |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 56,750 | 56,750 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 前期末残高 | 56,750 | 56,750 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 | - | - |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 56,750 | 56,750 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | 56,750 | 56,750 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 | - | - |
| 当期変動額合計 | - | - |
| 当期末残高 | 56,750 | 56,750 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | △17,782 | △17,541 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | - | - |
| 当期純利益 | 240 | 4,423 |
| 当期変動額合計 | 240 | 4,423 |
| 当期末残高 | △17,541 | △13,118 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 前期末残高 | △17,782 | △17,541 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | - | - |
| 当期純利益 | 240 | 4,423 |
| 当期変動額合計 | 240 | 4,423 |
| 当期末残高 | △17,541 | △13,118 |
| 株主資本合計 | | |
| 前期末残高 | 95,717 | 95,958 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 | - | - |
| 剰余金の配当 | - | - |
| 当期純利益 | 240 | 4,423 |
| 当期変動額合計 | 240 | 4,423 |
| 当期末残高 | 95,958 | 100,381 |
| 純資産合計 | | |
| 前期末残高 | 95,717 | 95,958 |
| 当期変動額 | | |
| 新株の発行 | - | - |
| 剰余金の配当 | - | - |
| 当期純利益 | 240 | 4,423 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | - | - |
| 当期変動額合計 | 240 | 4,423 |
| 当期末残高 | 95,958 | 100,381 |

注記事項
(株主資本等変動計算書関係)

平成 21 年度

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

| | 前年度末 株式数 | 当年度 増加株式数 | 当年度 減少株式数 | 当年度末 株式数 |
|-------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 1,135 | — | — | 1,135 |
| 合計 | 1,135 | — | — | 1,135 |

8. 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | 平成 21 年度末 |
|-------------------|-----------|-----------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | - | - |
| 危険債権 | - | - |
| 要管理債権 | - | - |
| 小計 (対合計比) | (-) | (-) |
| 正常債権 | 519 | 567 |
| 合計 | 519 | 567 |

- (注) 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、更生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 要管理債権とは、3 カ月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3 カ月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3 カ月以上遅延している貸付金（注 1 及び 2 に掲げる債権を除く）、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金（注 1 及び 2 に掲げる債権並びに 3 カ月以上延滞貸付金を除く）です。
4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注 1 から 3 までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。
※当社の場合、全額が保険約款貸付です。

9. リスク管理債権の状況

該当ありません。

10. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

| 項目 | 平成 20 年度末 | 平成 21 年度末 |
|--|-----------|-----------|
| ソルベンシー・マージン総額 (A) | 268,592 | 248,637 |
| 資本金等 | 95,957 | 100,381 |
| 価格変動準備金 | - | - |
| 危険準備金 | 51,046 | 53,361 |
| 一般貸倒引当金 | - | - |
| その他有価証券の評価差額 × 90% | - | - |
| 土地の含み損益 × 85% | - | - |
| 全期チルメル式責任準備金相当額超過額 | 121,588 | 94,895 |
| 持込資本金等 | - | - |
| 負債性資本調達手段等 | - | - |
| 控除項目 | - | - |
| その他 | - | - |
| リスクの合計額 | | |
| $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B) | 66,501 | 60,623 |
| 保険リスク相当額 R1 | - | - |
| 第三分野保険の保険リスク相当額 R8 | 35 | 34 |
| 予定利率リスク相当額 R2 | 31 | 28 |
| 資産運用リスク相当額 R3 | 10,748 | 8,086 |
| 経営管理リスク相当額 R4 | 1,937 | 1,766 |
| 最低保証リスク相当額 R7 | 53,784 | 50,741 |
| ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$ | 807.7% | 820.2% |

(注) 上記は、保険業法施行規則第 86 条、第 87 条、第 161 条、第 162 条及び第 190 条、平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています (全期チルメル式責任準備金相当額超過額は告示第 50 号第 1 条第 3 項第 1 号に基づいて算出しています)。

* 最低保証リスク相当額は、標準的方式により算出しています。

* ソルベンシー・マージン総額の資本金等は、貸借対照表の純資産の部合計から繰延資産計上額を控除しています。

11. 平成 21 年度特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|----------|-----------|--|-----------|--|
| | 金 額 | | 金 額 | |
| 個人変額保険 | 2,331 | | 2,998 | |
| 個人変額年金保険 | 2,620,411 | | 2,836,908 | |
| 団体年金保険 | - | | - | |
| 特別勘定計 | 2,622,742 | | 2,839,907 | |

(2) 個人変額保険（特別勘定）の状況

①保有契約高

(単位：千件、百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|-----------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 |
| 変額保険（有期型） | - | - | - | - |
| 変額保険（終身型） | 0 | 2,805 | 0 | 2,997 |
| 合 計 | 0 | 2,805 | 0 | 2,997 |

②年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| 現預金・コールローン | 49 | 2.1 | 47 | 1.6 |
| 有 価 証 券 | 2,265 | 97.2 | 2,950 | 98.4 |
| 公 社 債 | - | - | - | - |
| 株 式 | - | - | - | - |
| 外 国 証 券 | - | - | - | - |
| 公 社 債 | - | - | - | - |
| 株 式 等 | - | - | - | - |
| その他の証券 | 2,265 | 97.2 | 2,950 | 98.4 |
| 貸 付 金 | - | - | - | - |
| そ の 他 | 16 | 0.7 | 0 | 0.0 |
| 貸 倒 引 当 金 | - | - | - | - |
| 合 計 | 2,331 | 100.0 | 2,998 | 100.0 |

③個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度 | | 平成 21 年度 | |
|----------|----------|------|----------|-----|
| | 金 額 | | 金 額 | |
| 利息配当金等収入 | - | | 15 | |
| 有価証券売却益 | - | | - | |
| 有価証券償還益 | - | | - | |
| 有価証券評価益 | 0 | | 464 | |
| 為替差益 | - | | - | |
| 金融派生商品収益 | - | | - | |
| その他の収益 | - | | - | |
| 有価証券売却損 | 9 | | 0 | |
| 有価証券償還損 | - | | - | |
| 有価証券評価損 | 233 | | 0 | |
| 為替差損 | - | | - | |
| 金融派生商品費用 | - | | - | |
| その他の費用 | - | | - | |
| 収支差額 | | △242 | | 479 |

(3) 個人変額年金保険（特別勘定）の状況

①保有契約高

(単位：千件、百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 |
| 個人変額年金保険 | 473 | 3,310,507 | 461 | 3,190,504 |

(注) 金額は、年金支払開始前契約の基本保険金額と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

②年度末個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

| 区 分 | 平成 20 年度末 | | 平成 21 年度末 | |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| 現預金・コールローン | 45,836 | 1.7 | 59,644 | 2.1 |
| 有 価 証 券 | 2,572,699 | 98.2 | 2,774,225 | 97.8 |
| 公 社 債 | - | - | - | - |
| 株 式 | - | - | - | - |
| 外 国 証 券 | 11,688 | 0.4 | 9,727 | 0.3 |
| 公 社 債 | - | - | - | - |
| 株 式 等 | 11,688 | 0.4 | 9,727 | 0.3 |
| その他の証券 | 2,561,010 | 97.7 | 2,764,498 | 97.4 |
| 貸 付 金 | - | - | - | - |
| そ の 他 | 1,875 | 0.1 | 3,038 | 0.1 |
| 貸 倒 引 当 金 | - | - | - | - |
| 合 計 | 2,620,411 | 100.0 | 2,836,908 | 100.0 |

③個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

| 区 分 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|----------|----------|----------|
| | 金 額 | 金 額 |
| 利息配当金等収入 | 19,708 | 4,521 |
| 有価証券売却益 | 66 | - |
| 有価証券償還益 | - | - |
| 有価証券評価益 | 71,178 | 514,713 |
| 為替差益 | 0 | 0 |
| 金融派生商品収益 | - | - |
| その他の収益 | - | - |
| 有価証券売却損 | 85,014 | 22,547 |
| 有価証券償還損 | - | - |
| 有価証券評価損 | 739,806 | 110,607 |
| 為替差損 | 0 | 0 |
| 金融派生商品費用 | - | - |
| その他の費用 | - | - |
| 収支差額 | △733,867 | 386,079 |

12. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

参考. 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

以下について、いずれも該当ありません。

- SPEs 一般
- CDO
- その他サブプライム・Alt-A エクスポージャー
- CMBS
- レバレッジド・ファイナンス
- RMBS
- クレジットリンクノート/ローン
- その他